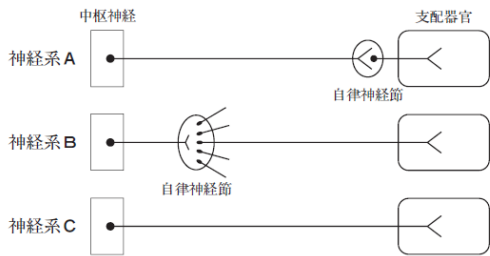


102-112

問題文



1. 神経系Aは、副交感神経系である。
2. 神経系Aの興奮により、大部分の血管平滑筋が収縮する。
3. 神経系Bの節前線維は、主に胸髄及び腰髄の側角から発する。
4. 神経系Bの興奮時には、瞳孔括約筋が収縮して、縮瞳が起こる。
5. 神経系Cの神経終末からノルアドレナリンが放出される。

解答

1, 3

解説

節後が長いのが、交感神経です。短いのが、副交感神経です。例外的に節がないのは、支配器官が副腎である交感神経です。（これは、副腎が神経節の一種であるからです。）

選択肢 1 は、正しい記述です。
（節後が短いので、副交感神経とわかります。）

選択肢 2 ですが
副交感神経系の興奮により、多くの血管平滑筋は弛緩します。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 は、正しい記述です。
（本番では、他の選択肢を切るのが現実的だと思います。）

選択肢 4 ですが
交感神経の興奮時なので、散瞳します。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 ですが
神経 C は、交感神経の節前と考えればよいです。そのため、神経伝達物質は、アセチルコリンです。ノルアドレナリンでは、ありません。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 1,3 です。